

孤独と向き合う

岐阜市立藍川東中学校 3年
加賀 雅裕（かが まさひろ）

皆さんは、孤独についてどのような印象を持っていますか。きっと、「ひとりぼっち」や「寂しい」「暗い」「弱い」などあまり良いイメージではないと思います。では、対照となる「群れ」のイメージはどうでしょうか。「一緒にいて安心する」「楽しい」「責任を共にできる」ではないでしょうか。自分も「一人」ということに向き合う前は、マイナスなイメージを持っていて、友達と群れるような生活をしてきました。仲間の中にいることで安心できて、楽だったからです。

でも、ある時考え方が変わる出来事がありました。それは、中学生になった時の事です。学校の勉強や塾の宿題に追われる日が多くなり、学校では休み時間も勉強をしていました。初めの頃は、友達に「一緒に遊ぼう。」と言われると、「遊んだ方がいいのかな」と思い合わせるようにしていました。しかし、段々と辛くなり、思い切って理由を話し断ってみたのです。何て思われるだろうと、とても不安でした。ところが友達は、「付き合い悪いなあ」と思うことなく、「分かった。」と私の考えを理解してくれたのです。そのおかげで、私は「一人」でも不安が無く、しっかりと勉強に向き合うことができ、気持ちも充実していきました。そして、「群れる」ことにこだわらず、「孤独」であることも時には必要だと初めて気づくことができたのです。

「孤独」には秘めた力があると思います。その理由は、部活動や勉強では取り組むことも結果を出すことも「自分一人」だからです。一人で「考え、もがき、苦しむ時間」は自分を鍛え、成長させます。

私は今、バスケットボール部に所属しています。団体競技ですが、練習は団体だけではありません。個人ごとにストレッチやランニング、シュート練習など自主練習をする時間があります。その練習があるからこそ、チームの練習や試合の結果にもつながっていくと思うのです。

勉強でも同じだと思います。授業の中で仲間と意見を交流することはもちろん力がつくと思います。ただそれだけでは、周りの情報を多く取り入れすぎてしまい、自分の得意不得意、好き嫌いに気づききっかけを失ってしまうと思うのです。実際に私は、「なぜ、どうして」と気になったことをその都度考察しました。その結果、初めは好きではなかった数学が、今では大好きになり、数学に必要な技術が身に付いていきました。新しい考えをどんどん作り出すことができ、さらに「創造性」を高めることができました。

それに対し、「群れ」というのは、創造性や個性を潰してしまうことがあると考えます。「集団」でいることは、同じ意見を共有できるメリットがあります。その反対に、「あの子がやってくれるだろう」「みんなに従おう」とよく考えずに行動してしまったり、和を乱す自分の意見があっても、「輪を乱すかな」「嫌な気持ちにならないかな」と周りとは違う意見を言うの躊躇した結果、自分の本位でない方向に集団が動くこともあり、各個人の個性が薄れてしまうデメリットもあるのではないのでしょうか。

ただ「孤独」になれ、というわけではありません。まずは、自分一人と「向き合う」ことが必要ではないかと伝えたいのです。勿論、仲間と過ごす時間は大切です。そして何より、集団力はとても大きな力となります。でも、その元は「個人」であり、その人たちが自分と向き合えてさえいれば、結果もおのずと変わってくると思うのです。

「孤独」と向き合うのは、怖くて不安かもしれません。ですが、私は向き合っただけで不安だと感じたことはありませんでした。一人で考え、取り組む時間が自分を強くして、何かの結果を出すことで自信がついていきました。「孤独」と向き合うこと、それは、自分自身の成長を実感できることだと思います。そして、その先には他の人に頼ることなく、自分一人で考えて、選択や行動ができる「自立」があると考えます。